

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	長岡技術科学大学	整理番号	1-2-065
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	実務訓練（長期実践型実習）と教育効果		
申請単位	大学全体		
申請担当者	飯田 誠之		
<p>（取組の概要）</p> <p>技術科学を標榜し、創造的能力の啓発を目指す長岡技術科学大学は、教育面では実務経験を重視し、企業等における 4～5 か月の長期間にわたる実務訓練を教育プログラムに導入している。学部・大学院修士課程一貫教育を方針として、修士課程進学予定者には実務訓練を必修として課し、大学創設時から現在まで 24 年間で約 7,000 名に履修させた実績がある。国際的視野の獲得を目指す海外実務訓練についても 10 年以上の実績を持つ。教育効果の分析から、実務訓練の目的である「指導的技術者として必要な人間性の陶冶」と「実践的技術感覚を体得させること」を通し、大学院での研究活動の動機づけや職業選択など将来展望を形成させる上で極めて有効であることが明らかになっている。これらの実績を踏まえ、国際化・グローバル化時代への対応として、学術交流協定締結校との間で双方向的な国際実務訓練制度の構築を図り、また企業と連携した大学院での高度な技術教育プログラムの構築をも検討する。</p>			
<p>（採択理由）</p> <p>この取組は、長岡技術科学大学の教育目的・教育方針を実現するため、当大学の意思決定機関で決定され、組織的に実施されている取組であり、関係者の努力によって当初目標を達成するなど大きな成果を上げていると思われます。この取組は、24 年間にわたる実績のもとに、新たに海外実務訓練制度も加えた長期訓練を実施してきた点は、総合的に判断して優れており、他の大学の参考になる事例であると思われます。</p>			